

コミュニティ・スクール、地域協育ネット推進体制

時乗学校教育課長曰く、

「今年こそが、防府市のコミュニティ・スクール（CS）の勝負の年！」

平成24年度に市内のすべての公立小中学校をCSに指定して以来、年度ごとに次のような目標を掲げ取り組んできました。

- 平成24年度 学校運営協議会を根付かせる
- 平成25年度 地域支援を積極的に取り入れる
- 平成26年度 学校運営の質の向上を図る



平成27年度は、古江CSコンダクターが配置されたことで、これまでの取組を検証するとともに、これからの防府市のCSについて再考する1年間でした。年度後半からは、杉山教育長との協議も繰り返され、最終的に「市内すべての公立小中学校のCSの水準が一定レベルに達しているとは言い難い……」との結論に至りました。また、

①CSの多くの部分を学校に任せすぎにしていたのではないかと

②支援体制が不十分だったのではないかと

という教育委員会としての反省点も明らかになりました。

そこで平成28年度は、

①CS推進の指南書となる「防府モデル」の推進

②横の連携の強化・CS推進体制の確立

を目標に、「思い」を「形に」することとなりました。

①について ネット通信（No-77）をご参照ください。

②について

CSの進捗状況などの情報が一か所に集まり、各学校や公民館の困りごとなどが相談できるように、市役所1号館3階に『CSルーム』を設置し、古江CSコンダクターが駐在します。電話・メールでの相談や来室相談も可能ですので、お気軽にご連絡ください。

【直通電話：25-2596】 ・ 【スカイスクール送受信可能】

また、CSルームでは、定期的（毎週1回程度）に、古江CSコンダクターと拠点公民館である松崎・新田公民館の社会教育指導員2名（＝サブコンダクター）が集まり「CS推進プロジェクト会議」が開催されます。

ここでは、情報共有から支援体制の見直しに至るまで、しがらみの少ない自由な論点と様々な視点から「学校のため、公民館のため」を合い言葉に建設的な話し合いが行われます。右写真は、4月6日（水）に開催された第1回目の会議の様子です。2時間弱、ノンストップの意見交換が行われました。



市役所に設置された
CSルーム

